

有限会社サニタは1976年より、中和脱臭剤エアークムの販売代理を行っております。森のニオイ除去のメカニズムを応用したエアークムは、125種類の天然植物性精油を使うことで、安全に約3万種の不快臭を相殺して中和脱臭いたします。その脱臭効果ははっきりわかるという点で、長い間業務用として多くの施設や企業（病院、介護施設、ホテル、乗用車、タクシーなど）で愛用されて参りました。数ある消臭剤や芳香剤で解決できないニオイ問題の最後の手段としてエアークムを是非お試し頂ければ幸いです。

SANITA



エアークムスーパーシリーズ

業務用に開発された確かな効果。人、動物、環境にやさしい中和脱臭剤

125種類の天然植物性精油で、多種多様で複雑な「匂いのコントロール」と「空気の無臭化」を同時に行い、約3万種の不快臭を中和脱臭いたします。

業務用に開発された
確かな効果と実績!

置き場所に困らない
省スペース・低コスト

効果は約1ヶ月持続
(1個あたり約10㎡空間の場合)

60gと軽量な
固形タイプ



どれを使えばいいか迷ったら
まずはコチラ!

Airkem Super Gold

エアークムスーパー ゴールド

オフィス、車の中、トイレ、靴箱、キッチン、クローゼット、エレベーター内、飲食店、マッサージ施設の個室、ホテル、病院、福祉施設などあらゆる空間で使用できます。



Airkem Super Blue エアークムスーパー ブルー

強烈な動物臭などが気になるスペースに。

ペットのいる部屋、犬や猫のトイレ、ペットの餌置き場、ペットショップ、ペットホテルなど

Airkem Super Red エアークムスーパー レッド

特に強い悪臭、アンモニア臭に。

介護用ポータブルトイレなどをご使用のお部屋、医療施設(汚物処理室など)、強い匂いが気になる患者の方の個室、屋内ごみ収集所など

定期購入、個人様や法人様向けの
大口注文も承っております。



12個入
(税込15,600円)

もしくは



50個入
(税込65,000円)

3ヶ月・6ヶ月・1年に一度などお客様のご都合に合わせて

ご指定いただいた時期に定期的にお届けいたします。

※ご注文は1セット単位、もしくは1ケース単位でお願いいたします。

まずはお気軽にホームページ、メール、
FAX でお問い合わせ・ご注文ください。



販売代理店 有限会社サニタ

〒565-0854

大阪府吹田市桃山台5丁目1番C20-1006

FAX 06-6834-2638

<https://www.sanita-airkem.com/>

Email info@sanita-airkem.com



sanita-airkem



サニタ エアークム

詳しい内容はwebで!

サニタ エアークム or サニタ 中和脱臭 で検索!

業種別ご案内

中古車販売業・タクシー・レンタカー・バス・自動車業界

車内のニオイ問題は、快適なカーライフを送るためにとても大切なことです！

車の中は、密閉された狭い空間なので、様々なニオイの問題が敏感に感じられる空間です。喫煙者やペットを飼っている人は気づきにくいタバコ臭やペット臭、エアコンのカビ臭、シートに染み付いた汗の臭いや体臭、また食べ物の臭いなど車内の悪臭はいろいろです。

車の外装は綺麗でも車内のニオイが気になる車は乗りたくないという方が多いと思います。クルマの外装は洗車できますが、車内を丸洗いすることはなかなか難しいのが現状です。また、車内は空気環境が良くない場合も多く、独特なニオイが染み付いてしまうことがあります。一度付いてしまったニオイがなかなか取れないのも難点です。さらに、いつも乗っている人間は気づかないニオイでも、初めて乗った人にはニオイがとても気になり、気分が悪くなるなどストレスの原因となることもあります。車内独特のニオイが原因で、お子様など車酔いされる方も多いと聞きます。

車内での様々なニオイ問題に対応したエアーケムスーパーの特徴と効果的な使用方法をご紹介します。

どんなニオイ問題でお困りですか？

- 普段使用している消臭剤では「なんだかニオイが取れない」。
- 市販のスプレーを試したが、ニオイが混ざり余計に臭くなってしまった。
- タバコ臭をなんとかしたい。
- 中古車臭をなんとかしたい。
- エアコンから嫌な臭いが漂ってくる。
- ペット臭が染み込んで掃除しているのに、取れない。
- 車内の不快な芳香剤の臭いを取りたい。
- 中古車販売で納車前に車内クリーニング清掃をするが、またすぐ悪臭が復活してくる。
- 一つの製品で車中のあらゆるニオイ対策ができるものが欲しい。
- ニオイは気になるけど、芳香剤の香りが苦手。
- 素早く強力な消臭効果が欲しい。
- 芳香剤を目立つところに置きたくない。
- 人や動物、愛車に優しい消臭剤が欲しい。

車内のニオイ対策に効く、エアーケムの3つの特徴

1. 中和脱臭による強力な脱臭効果

「中和脱臭」とは、対立的なある匂いとある匂いを組み合わせると両方の匂いが相殺されて消えるという臭気中和原理を応用した脱臭方法です。エアーケムスーパーは125種類の天然植物性精油を主成分とし、約3万種の不快臭に対応いたします。

従来の市販の芳香剤は、単一ないしは単純な組成の香料を原料にしており、より強い香りで悪臭をごまかして感じさせなくするタイプの臭気脱臭剤です。マスキングタイプの芳香剤は、悪臭と混合し、ニオイ強度がかえって高くなるので、常時嗅いでいると飽きてしまったり、不快感が高まったり、気分が悪くなってしまふなどの欠点があります。

2. 「臭気中和」でコストパフォーマンス良くニオイ対策！

ニオイを感じにくくさせる「臭気中和」というニオイ対策法をご存知ですか？

ニオイ対策には、大きく分けて2種類の脱臭方法があります。原因物質を完全に除去する脱臭方法と感覚的脱臭方法です。「臭気中和」は後者の方法の一つです。

ニオイには、人間が感じる特性として、ニオイの原因物質を97%除去しても、ニオイの感覚は半分になったとしか感じません。99%除去してやっと3分の1に感じる場合があるほど。

つまり、原因物質を完全に除去する脱臭方法では、それだけコストや装置の負担がかかります。

もう一つは、使用も簡単でコストも安価な「感覚的脱臭」を使う方法です。ニオイの原因物質に対して臭気中和作用を持つ物質を合わせることでニオイを感じにくくさせる脱臭方法です。

この「感覚的脱臭」である臭気中和の理論を応用したのが中和脱臭剤エアーケムスーパーです。

悪臭の原因物質に対して、125種類の天然植物性精油からなるエアーケムを合わせることで臭気を中和相殺し、ニオイを感覚レベルで無臭にいたします。「感覚的脱臭」方法には芳香剤もありますが、強烈な臭いに使うと、悪臭が増してしまう場合があり、お勧めできません。

ニオイ対策として、「臭気中和」を行うエアーケムスーパーゴールド1つで車内のあらゆる不快臭に対応できる手軽さと便利さがございます。

また、軽量（60g）でコンパクトなので、車内のどこでも場所を選ばず設置できます。

3. 人も動物も車も傷めない

不燃性で、毒性、刺激性もなく、生分解性に優れた脱臭剤です。安全で無害な天然植物性精油を主成分にしておりますので、人だけでなく、大切なペットが乗る車内でも安心してご利用いただけます。また、過剰な「抗菌、殺菌、除菌」文化よりも、森の原理から生まれた地球に優しい脱臭方法を採用しております。

『健康の決め手は微生物である。』という話を、ご存知ですか？

実は、地球上で最も数の多い生命体は微生物です。私たちの身の回りにも想像を絶する菌数が生着しています。「除菌」は、いい菌も悪い菌もすべて「除いて」しまう行為なので、私たちに必要な菌たちも死んでしまいます。過剰な除菌でアレルギー疾患が増え、免疫力が育たなくなる危険性があります。

エアーケムスーパーは、森の中で動物の死骸などがあるのに腐敗臭がしない自然界の臭気中和の原理を応用しています。農業科学、医学、生物学、環境学などの科学分野で言われている、自然界の原理に則った臭気中和脱臭剤です。過剰な殺菌、除菌のための成分は含まれておりません。

車内の臭いを脱臭する方法

☆車内のあらゆるポイントをチェックし、丁寧に清掃する。

特に、エアコンのフィルターの汚れ、座席シート下や隙間、トランクルームなどにペットの毛が落ちていないか、マットが汚れていないか、シートベルトはどうかのチェックをする。

☆車内の適切な設置場所を検討する。

以下の車内置き場所の具体例の写真を参照にしてください。

☆エアーケムスーパーの適切な濃度を調整する。

アルミフィルム上に穴を開けて使うやり方の場合には穴の数の調整、フィルムを剥がして利用される方法ではどのくらい剥がすかを調整する。

効果の目安は、1個当たり約10㎡の空間の場合1カ月持続。

*ニオイの問題は感覚の問題なので、エアーケム発散の濃度の好みはその人それぞれの感覚に合わせて変えていただくことをお勧めしております。使用に関する具体的なお相談は随時承りますので、お気軽にご連絡ください。

車内の効果的な設置場所

☆悪臭源のすぐそばに。

一番臭いの原因となる発生源のすぐ近くに置くのがベストです。

☆悪臭対策には低い場所に。

人が感じる悪臭は空気よりも重いので、上から下へと流れます。そのため、車内でも、足元の低い位置に置く方がおすすめです。

☆空気の流れを意識して。

バスなどの大型車両は、入り口のドア近くや、空気の循環が悪い後部座席付近など

☆乗用車は座席シート下でも。

タクシーや乗用車は下記の写真のような場所か、座席シートの下など。

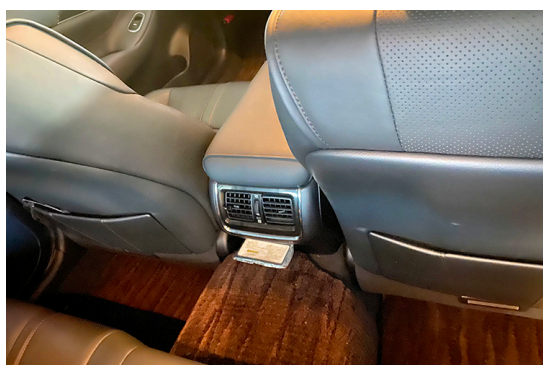


Figure 1 蓋部分に爪楊枝で数カ所穴をあけて車内に。